

| 第3回舟着地域協議会 会議録 |                                                                                                                                             | 公 開 ・ <del>非公開</del> |                |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|----------------|
| 日時             | 令和8年6月19日（金）<br>午後7時00分～午後9時01分                                                                                                             | 場所                   | 鳥原児童館1階<br>会議室 |
| 出席者            | （委員）<br>荒川浩幸、河口利幸、加藤春夫、長谷川高弘、古田忍、山本平、<br>原達也、樋口義治、鈴木仁、柿田文恵、飛安章智、櫻井利昭、<br>池田嘉子、清水幸代                                                          |                      |                |
|                | （事務局）服部所長、菅野参事、宮本副参事、後藤主任                                                                                                                   |                      |                |
| 欠席者            | 3人（中根康智、山下健次、森勝哉）                                                                                                                           | 傍聴者                  | 2人             |
| 議題・議事・発言等      | 1 開会<br>2 議事<br>（1）令和8年度地域自治区予算実施の協議<br>（2）令和9年度地域自治区予算事業計画策定の協議<br>3 報告<br>（1）高齢者支援アンケート方針（令和8年度地域自治区予算）<br>4 その他<br>（1）次回の舟着地域協議会<br>5 閉会 |                      |                |

## 1 開会

（会長）

半数以上の委員が出席しているため、新城市地域自治区条例第8条第3項の規定を満たしており、会議が成立していることを報告した。

今回の会議録署名人は古田忍委員と山本平委員となることを報告した。

## 2 議事

### （1）令和8年度地域自治区予算実施の協議

①舟着茶話会事業、②舟着の魅力発見事業、③ネットワークづくり事業について、各グループで令和8年度実施に向けて協議と情報共有を行った。リーダーは以下のとおり決定した。

①舟着茶話会事業 古田委員

②舟着の魅力発見事業 河口委員

③ネットワークづくり事業 飛安委員

### （2）令和9年度地域自治区予算事業計画策定の協議

資料1～資料4に従って事務局から説明をした。

資料1では、地域自治区予算を地域活動交付金へ充てることができることを、過去5年間の地域活動交付金の実績値を基に説明をした。

資料2では、第2回地域協議会で出た質問等の回答を述べた。

資料 3、4 では、現在市で実施している高齢者等の暮らしに関するサービスの説明をした。過去、舟着地域協議会でも高齢者対策は色々と協議されてきたが、市でも多くのサービスがあるため、まずは積極的に利用し、既存サービスで対応できない場合は、その時に本課や地域協議会で協議する方向性となった。

事務局からの説明後、グループワークを行い、最後に各グループの意見発表が行われた。発表内容は以下のとおり。

#### < A グループ >

- 地域型訪問サービス（訪問 B）の費用（150 円、300 円、450 円）に対して、介護保険が使えるのか、または地域自治区予算を利用することが可能かという疑問が出されました。これについては、事務局が持ち帰って検討することになりました。
- 資料 2 の 2 番（集会施設整備）に関しては、新城市地域集会施設整備費補助金制度を活用して進めることで意見がまとまりました。
- 舟着小学校の滑り台設置については、単年度ではなく基金を利用して約 2 年の期間をかけて、設置したいという意向が示されました。
- 舟着小学校のブドウ棚の足場が腐食して倒れそうになっており、大変危険な状態であるため、速やかに補修等をしたいという話が出ました。
- 熱中症対策キットを AED の近くに置くという案に対し、内容を限定して、各家庭や個人で持てるようなキットにしてはどうかという提案が出されました。熱中症対策キットの具体的なあり方については、今後の話し合いの議題となりました。
- 高齢者の地域拠点等の整備に向けて、新城市地域集会施設整備費補助金制度や地域自治区予算、地域活動交付金、自己予算をどのように組み合わせて資金を作るかを今後考えていくことになりました。

#### < B グループ >

- 鳥獣対策について、柵の管理（14 年間管理）や費用の面でハードルが高く、地域自治予算を投入すべきか慎重な検討が必要という意見が出されました。
- 集会場（公民館等）の整備は重要ですが、地域自治区予算の活用が適当かどうかについては、これからの話し合いによるとされました。
- 滑り台の設置については、予算の制約はあります。子供たちのために、他の補助金制度（他の市の予算）を活用して「とにかく早く仕上げてあげたい」という意見でまとまりました。
- S バスについては、令和 8 年 1 月に時刻表を更新したばかりですが、予算面や暑い時期の運行費用などに課題があり、今後の話し合いが必要とされています。
- 昔の体育振興会のような団体を新たに設立し、活動交付金を利用して子供中心の各種行事を行ってはどうかという提案がありました。
- 熱中症対策キットについては、設置場所や維持管理の責任主体の問題などから、現在は棚上げ（保留）状態となっています。
- 高齢者が地域で歩いて行ける範囲に、お茶等が飲めるカフェのような集いの場を設けたいという案が出されました。  
老人福祉センターが閉鎖されたため、小学校の空き部屋を地域活動拠点として利用できるよう、今後も茶話会等で議論を進めていく方針です。
- 空き家対策については、人口が増えない限り根本的な解決は難しく、また誰でも受け入れれば良いというわけでもないため、非常に難しい問題であるとの認識が示されました。
- 一人暮らしの高齢者等へのゴミ出しサポートについて、アンケート調査（資料 5）を実施し、具体的なニーズを把握することを確認しました。

### 3 報告

#### (1) 高齢者支援アンケート方針（令和8年度地域自治区予算）

資料5に沿って事務局から説明を行った。

この内容を基に、7月6日に行われる区長会で説明をし、第4回舟着地域協議会で内容を決定して進めていくことになった。

### 4 その他

#### (1) 次回の舟着地域協議会

会長から第4回舟着地域協議会は、7月10日（金）午後7時00分から鳥原児童館で開催することを報告した。

### 5 閉会

会長から第3回舟着地域協議会の中で全体を通して意見や質問がないか確認した。

（配布資料）

次第、地域自治区予算と地域活動交付金の配分資料1、令和9年度地域自治区予算策定の検討材料資料2、高齢者等の暮らしに関するサービス資料3、現在の福祉サービス資料4、福祉アンケート資料5